学校番号	３０２４

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次

使用教材	高校生の美術１（日本文教出版）
副教材等	

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 感じとったことから考え、意図に応じて材料や用具の特性を生かす「絵画・彫刻」、目的、機能、美しさなどを考える「デザイン」、美術作品のよさや美しさを感じ取る「鑑賞」の分野について学習します。
・ 一人ひとりの思いや感じ方、表現形式の特性や形体・色彩などに着目して、自分なりの感じ方を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

・ 美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、グローバルリーダーとして日本の美術文化を世界に発信していける感性と創造性を育てる。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じとったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化を理解し、その美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、 多様な表現活動について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー 隣同士でモデルになる。	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている b:人体の形態と動きの特徴をつかみ、表現を工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:美術作品のよさや美しさを感じ取り、美術の意義や文化についての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 ワークシート 作品
	異空間と○○	【絵画・彫刻】 ・静物１点デッサン 自分の持ち物を１点選び、 デッサンする。	○		○		a:デッサンの目的を理解し、描写の基礎知識を得て制作に生かそうとしている。 C:明暗・大きさ・詳細を正しく捉えられているか	制作の様子 制作途中の作品 作品
		【デザイン】【絵画・彫刻】 ・モダンテクニック ９つのモダンテクニックを 使用し、ケント紙にオリジナルの異空間を制作する。 デッサン基礎の作品をコラージュし、「異空間と○○」というテーマでストーリーを作り、モダンテクニックを加え、工夫し表現する。	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:偶然性を楽しみながらコンセプトに沿った制作ができているか。 b:条件からモダンテクニックと色彩の働きを考えて表現の構想を練っている。 c:モダンテクニックを正しく理解し、その特性を生かした表現ができているか。 d:よさや美しさ、 表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品

2学期	油彩 名画を描こう	【鑑賞】 ・油画の基礎を教科書と プリントで学習する。 ・教科書から絵画を一つ選び、その作品・作者についてレポートを作成する。	○ ○			○ ○	a:有名な絵画から美術の歴史や役割の変容を知ることで 鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしてる。 d:美術作品のよさや美しさを感じ取り、美術の意義や文化についての理解を深めている。	鑑賞ワークシート
		【絵画・彫刻】 ・スケッチ 選んだ絵画をクロッキー帳にスケッチする。 ・油彩 キャンバスに油絵の具で着彩する。	○ ○	○ ○	○	○	a:　有名な絵画から美術の歴史や役割の変容を知ることで 表現の活動に主体的に取り組もうとしてる。 b:スケッチで名画の明暗とコントラストを意識し、 着彩の工程に生かそうとしてる。 c:油絵具の特性を知り、その特性を生かし表現方法を工夫しているか。 d:作者の意図や表現の工夫、よさを読み取り、作品や作者について理解している。	スケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

3学期	立体表現 お面を作ろう	【絵画・彫刻】 ・紙の立体表現 ケント紙を使用し、指定された立体物を制作する。	○		○		a:紙の特徴を知り、理解しようとしている。 c:展開図・切り込み・切り取りが正しく理解できているか。	ワークシート 作品
		【絵画・彫刻】 【デザイン】 ・世界のお面の鑑賞 ・アイデアスケッチ ・制作 コート紙とケント紙を使用し、お面を作る。 ・張り子 和紙を糊で貼り、張り子の表現を知るとともに、強度を高める。 ・着彩 デザインガッシュで着彩する。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○	a:多様な立体の表現について興味・関心を持とうとしている。また、制作に生かそうとしている。 b:紙の特性を理解し、制作過程を考えてアイデアスケッチをしている。 c:紙と和紙の特性を生かし立体物として表現・制作ができているか。 d:地域の違いによるデザインと役割の多様性を理解しようとしてる。	アイデアスケッチ ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、
学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。